

「主な取組」検証票

| | | | | |
|----------|---|---------------|---------|------------------|
| 施策展開 | 5-(6)-ア | 県民生活を支える人材の育成 | 施策 | ③ 警察・消防・救急従事者の育成 |
| | | | 施策の小項目名 | ○警察官の育成 |
| 主な取組 | 警察基盤整備事業 | | | |
| 対応する主な課題 | ④犯罪のグローバル化、情報通信技術の発達等による犯行形態の多様化、広域化などに迅速・的確に対応できる人材が求められているほか、近年、来日外国人等の増加に伴い、主要外国語（英語、韓国語、中国語）以外を話す外国人が増加しているため、希少言語習得者の確保等の体制整備が求められている。 | | | |

1 取組の概要 (Plan)

| 取組内容 | | 年度別計画 | | | | |
|---|------------|--------------------------|------|------|------|------|
| 犯罪の起きにくい沖縄県の実現に向けて警察基盤を確立するため、各種専科教養等により警察官の資質の向上を図る。 | | H29 | H30 | R元 | R2 | R3 |
| | | 530人 | 530人 | 530人 | 530人 | 530人 |
| 実施主体 | 県 | 警察学校等における専科開講、研修派遣、技能伝承等 | | | | |
| 担当部課【連絡先】 | 警察本部警務部教養課 | 【098-862-0110】 | | | | |

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

| 予算事業名 | | R3年度 | | | | | 令和2年度活動内容と令和3年度活動計画 | |
|-------|------|----------|----------|---|---------|-----------|---------------------|--|
| 運営活動費 | | 当初予算額 | 主な財源 | OR2年度：新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、各種専科に職員420名を派遣して資質向上を図った。県外研修については、殆どが中止となった。 | | | | |
| 主な財源 | 実施方法 | H28年度決算額 | H29年度決算額 | H30年度決算額 | R元年度決算額 | R2年度決算見込額 | OR3年度 | OR3年度：新型コロナウイルス感染症対策を継続しながら、警察官の資質向上のため、継続して各種専科等に職員を派遣する。 |
| 県単等 | 直接実施 | 37,130 | 25,454 | 32,060 | 24,570 | 6,808 | 18,786 | 県単等 |

| 活動指標名 | R2年度 | | | | R2年度 | 進捗状況 | 活動概要 | |
|--------------|-------|-------|-------|------|--------|------|-------|--|
| 実績値 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R元年度 | 実績値(A) | | | 計画値(B) |
| 警察学校等への研修派遣等 | 507人 | 493人 | 514人 | 506人 | 420人 | 530人 | 79.2% | 新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、各種専科に職員420名を派遣して資質向上を図った。県外研修については、殆どが中止となった。 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 新型コロナウイルス感染症の影響により、県外派遣や各種研修等が中止となったものの、計画値530人に対し420名の職員を派遣し、概ね順調である。 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | |
| — | — | — | — | — | — | — | — | |
| — | — | — | — | — | — | — | — | |

(2) これまでの改善案の反映状況

| 令和2年度の取組改善案 | 反映状況 |
|--|---|
| ・近年の来日外国人等の増加による事件・事故等へ適切に対応するため、できる限り数多くの語学適性のある人材を語学研修に派遣する。 | ・新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の語学研修への派遣ができなかったが、代わりにリモートでの研修を実施する等新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、可能な限りの語学教養を実施した。 |

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

| ○内部要因 | ○外部環境の変化 |
|---|---|
| ・外国語を習得するためには、長期にわたる継続した研修及び学習環境が必要であるが、研修を受ける人員の確保、長期間の学習環境の確保が困難となってきた。 | ・新型コロナウイルス感染症の影響により、語学研修だけでなくその他の研修についても長期にわたる継続した研修が実施困難な状況となっており、人材育成の妨げとなっている。 |

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・リモート講義等を導入するなど、新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に抑える講義、研修方法等を導入していく。

4 取組の改善案 (Action)

・新型コロナウイルス感染症が収束した後は、来日外国人等の増加が見込まれることから、これら来日外国人等による事件・事故等へ適切に対応するため、できる限り数多くの語学適性のある人材を語学研修に派遣するとともに、リモート講義等を活用した継続的な語学教養の実施及び各種研修等を行い、警察官の資質の向上に努める。